

必ずお読み下さい

=====

□ 商標について

Adobe、Acrobat、Acrobat Reader、PostScript およびPostScript 3は、
Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Linux は、Linus Torvalds の商標です。
OpenOffice.org は、OpenOffice.org の商標です。
StarSuite Office は米国 Sun Microsystems の商標です。
UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、本文中の社名や商品名は、各社の商標です。

□ 目次

ご使用になる前に

1. はじめに
2. Canon LIPS4 Printer Driver for Linux の配布ファイル構成
3. プリンタドライバの使用環境
4. 使用上の注意

1. はじめに -----

このたびは「Canon LIPS4 Printer Driver for Linux」をご利用いただきまして、
誠にありがとうございます。

本プリンタドライバは、Linux OS 上の印刷システムである CUPS（Common Unix Printing
System）環境で動作するキヤノン LBP/iR プリンタ製品に対応する印刷機能を提供する
ドライバです。

2. Canon LIPS4 Printer Driver for Linux の配布ファイル構成 -----

Canon LIPS4 Printer Driver for Linux の配布ファイルは、以下のとおりです。
なお、CUPS ドライバ共通モジュールおよびプリンタドライバモジュールの

ファイル名は、お使いのバージョンによって異なります。

- README-lips4-1.8x.txt (本ドキュメント)

Canon LIPS4 Printer Driver for Linux の使用上の注意、補足情報について記載しています。

- LICENSE-lips4drv-1.8x.txt

Canon LIPS4 Printer Driver for Linux の使用許諾契約書です。

- guide-lips4-1.8x.tar.gz

Canon LIPS4 Printer Driver for Linux の利用方法を記したオンラインマニュアルです。

Canon LIPS4 Printer Driver for Linux の動作環境・インストール方法・使用方法については、こちらに記載しています。

圧縮ファイルになっていますので、任意のディレクトリに解凍してご参照ください。

- cndrv cups-common-1.80-X.i386.rpm (32-bit 用)

- cndrv cups-common-1.80-X.x86_64.rpm (64-bit 用)

- cndrv cups-common_1.80-X_i386.deb (Debian 32-bit 用)

Canon LIPS4 Printer Driver for Linux で用いる、CUPS ドライバ共通モジュールのインストールパッケージです。

- cndrv cups-lips4-1.80-X.i386.rpm (32-bit 用)

- cndrv cups-lips4-1.80-X.x86_64.rpm (64-bit 用)

- cndrv cups-lips4_1.80-X_i386.deb (Debian 32-bit 用)

Canon LIPS4 Printer Driver for Linux のインストールパッケージです。

- cndrv cups-common-1.80-X.tar.gz

Canon LIPS4 Printer Driver for Linux で用いる、CUPS ドライバ共通モジュールのソースファイルです。

- cndrv cups-lips4-1.80-X.tar.gz

Canon LIPS4 Printer Driver for Linux のソースファイルです。

3. プリンタドライバの使用環境 -----

本プリンタドライバは以下の環境でご使用ください。

- ・ハードウェア x86 互換の 32-bit CPU または 64-bit CPU を搭載し、Linux が動作する

コンピュータ

- ・対象プリンタ LBP-1310/1420/1620/1810/1820/1910/2050/2510/2710/2810
LBP3410
LBP3700/3800
LBP3900/3950
LBP3910/3930
LBP3920/3970
LBP3980
LBP3980M
LBP4500
LBP5400/5500/5700/5800/5900
LBP5910/5910F
LBP5910M/5910MF
iR400/GP405
iR105/105-E
iR105i
iR1500F/1600/1610/2000/2010
iR2200/2200i/2210/2800/2800i/2810/3300/3300i/3310
iR2250i/2850i/3350i
iR2270/2270F/2870/2870F
iR3025/3025F
iR3035/3035F/3045/3045F
iR3225/3225F
iR3235/3235F/3245/3245F
iR3570/3570F/4570/4570F
iR5000/5000i/5110/6000/6000i/6010
iR5055/5055N/5065/5065N
iR5075N
iR5150i/6050i
iR5160i/6060i
iR5570/5570N/6570/6570N
iR7086/7095/7105
iR7200/7200-E
iR7270N
iR8500/8500-E
iR8570N
iR C2570/C2570F
iR C2620/C2620N
iR C3080/C3080F/C3580/C3580F

iR C3100/C3100N/C3100F/C3100i
iR C3170/C3170F
iR C3200/C3200N
iR C3220/C3220N
iR C2880/C2880F/C3380/C3380F
iR C3880/C3880F/C4580/C4580F
iR C4080/C4080F
iR C5180/C5180N
iR C5185/C5185N
iR C5800/C5800N
iR C5870/C5870N/C6870/C6870N
iR C5880/C5880N/C6880/C6880N
iR C6800/C6800N
imagePRESS C1

インストール方法および具体的なご利用方法に関しましては、オンラインマニュアルをご覧ください。

4. 使用上の注意 -----

- 本プリンタドライバを使用するためには、共通 API を含んだ Ghostscript が必要です。ドライバをインストールする前に、必ず Ghostscript をインストールしてください。Ghostscript の入手方法は、下記 URL を参照してください。
<http://opfc.sourceforge.jp/index.html.ja>
- cndrv cups-common パッケージのバージョン 1.80 をインストールする場合、cndrv cups-lips4 パッケージも、同じバージョン 1.80 をインストールしてお使いください。
- OpenOffice.org および StarSuite より [ページレイアウト] で複数ページ/枚を指定した場合、CUPS モジュールの動作原因により、正しく複数ページ割り付けされて出力されません。
- OpenOffice.org および StarSuite より部数指定をして作成した PostScript ファイルは、ドライバ画面の [プリンタ選択/印刷設定] ページ内の [印刷部数] で指定した値ではなく、PostScript ファイル作成時の部数を反映して出力します。
- プリント処理中にドライバ画面より設定内容を変更した場合、印刷結果は変更後の設定内容を反映したものになります。

- OpenOffice.org、GIMP、Acrobat Reader v5.0 などのアプリケーションより [印刷全般] ページの [明るさ/ガンマ補正設定] を指定した場合、設定内容は有効になりません。
- [フィルタオプション] ページの [フィルタ指定] で [HP-GL/2 options] を選択したとき、CUPS モジュールの動作原因により、[Pen Width] の設定内容は有効になりません。
- デスクトップまたはコマンドライン上から、PDF 書類を直接指定して印刷することはできません。PDF 書類を印刷するときは、Acrobat Reader または Adobe Reader より印刷することを推奨いたします。
- Linux 以外の OS 環境で作成された PDF 書類を Acrobat Reader より印刷する場合、PDF ファイル中で使用されている和文フォントによっては、正しい印刷結果が得られない場合があります。
- [印刷全般] ページの [明るさ/ガンマ補正設定] で 100 未満の値を指定した場合、ghostscript の動作原因により、最終ページに黒いページが余分に出力されます。
- 印刷時プリントキューの最大保持数は、CUPS モジュールの仕様により 500 未満です。500 番目以降のプリントキューは破棄されます。
- SUSE LINUX Professional 9.3 をお使いの場合、ドライバ画面が文字化けする場合があります。この問題は、以下の方法で回避できます。
 - 1) root でログインする
 - 2) 以下のコマンドを実行して、GTK+の環境設定を変更する

```
# cd /etc/
# ln -s opt/gnome/gtk ./
```
- SUSE LINUX Professional 9.3 をお使いの場合、ドライバ画面を起動すると、ワーニングが発生する場合があります。この問題は、以下の方法で回避できます。
 - 1) [K メニュー] -> [コントロールセンター] を起動する
 - 2) [外観&テーマ] を選択する
 - 3) [色] を選択する
 - 4) [非 KDE アプリケーションにも色設定を適用] のチェックをオフにする
 - 5) [コントロールセンター] を閉じる
- OpenOffice.org から印刷するときに、ドライバ画面の [印刷部数] で複数部数を指定すると、[回転] 等の一部のフィニッシング機能が正常に動作しない場合があります。

- お使いのプリンタによっては、CUPS のテストページ出力に時間がかかる場合があります。

- グレー色の印刷結果が見えにくい場合は、プリンタ本体のパネルで中間調設定を変更すると、印刷結果が改善される場合があります。

- SUSE Linux 9.3、SUSE Linux 10.0 をお使いの場合、Mozilla または FireFox で [印刷] ダイアログボックスから印刷をするときに、複数部数を指定しても、設定内容は有効にならず、1 部しか印刷されません。この問題は、/etc/cups/mime.convs ファイルの下記の行を以下のとおりに変更することで回避できます。

[修正前]

```
application/mozilla-ps application/postscript 33 pswrite
```

[修正後]

```
application/mozilla-ps application/postscript 33 pstops
```

- Fedora Core 5 以降をお使いの場合、SELinux が Enforcing または Permissive に設定されていると、デフォルト設定では印刷ができません。以下のように設定を変更することで、Enforcing または Permissive でも印刷することができます。

- 1) デスクトップメニュー ->[管理] ->[セキュリティレベルとファイヤーウォールの設定]を開く
- 2) [SELinux] タブの [SELinux ポリシー修正] ->[印刷] を選択する
- 3) [印刷] 以下に表示される 4 つのチェックボックスをオンにする
- 4) [OK] をクリックしてウィンドウを閉じる

- Fedora 7 以降をお使いの場合、SELinux が Enforce に設定されているときは、以下の手順でポリシパッケージをインストールする必要があります。

(Permissive に設定されているときは、必要ありません。)

<準備>

- 1) プリンタドライバパッケージをインストールして、プリンタを設定する
※インストール方法や設定方法は、オンラインマニュアルを参照してください。
- 2) checkpolicy パッケージがインストールされているかを確認する

```
# rpm -qa | grep checkpolicy
```


パッケージ名が表示されない場合、下記コマンドでインストールする

```
# yum install checkpolicy
```
- 3) SELinux を "Enforcing" に設定する
 1. メニューバーの [System] - [Administration] - [SELinux Management] を選択する
 2. ダイアログ内 [System Default Enforcing Mode] を [Enforcing] に設定し、[OK] をクリックする
- 4) Linux を再起動する

<ポリシーパッケージの生成とインストール>

- 1) SELinux を Permissive に設定する

```
# /usr/sbin/setenforce 0
```

- 2) 対象プリンタへ印刷を行う

例) LBPxxxx へ CUPS テスト文書を印刷

```
# lpr -P LBPxxxx /usr/share/cups/data/testprint.ps
```

- 3) ポリシパッケージを生成する

```
# audit2allow -M cncapt -l -i /var/log/audit/audit.log
```

- 4) ポリシパッケージをインストールする

```
# /usr/sbin/semodule -i cncapt.pp
```

- 5) Linux を再起動する

- Fedora 8、Fedora 9 をお使いの場合、[印刷全般]ページの[バナーページ印刷設定] - [印刷終了]で[none]以外を指定すると、印刷キューが停止します。
- OpenSUSE 10.2 および SLED10SP1 に含まれる Ghostscript のバージョンが 8.15.3 のシステムをお使いの場合、印刷できない文書があります。他のバージョンの Ghostscript を入手してください。
- OpenSUSE 11.0 で Ghostscript のバージョンが 8.6.x のシステムをお使いの場合、Evince や GIMP などのアプリケーションから印刷するときに時間がかかる場合があります。
- Adobe Reader 7.0.x の印刷画面で「用紙サイズ」「給紙部」「両面印刷」などの指定を行った場合、プリンタコマンドにコマンドオプションとして指定した項目が自動的に付加されますが、コマンドオプションとして正しく認識できないため、指定した項目は無効となります。
指定を有効にして印刷する場合、プリンタコマンドのコマンドオプションを以下のように“-o ”で1つ1つのオプションを区切るように指定してください。
(変更前) -o InputSlot=Manual,Duplex=DuplexNotumble
(変更後) -o InputSlot=Manual -o Duplex=DuplexNoTumble
- Adobe Reader 8 から PDF を印刷した場合、一部の画像データが印刷されない場合があります。
この問題は、Adobe Reader 7 を使用することで回避できます。
- Adobe Reader 8.1.2 の印刷画面のプロパティで[両面印刷 (短辺とじ)]を指定して印刷すると、[両面印刷 (長辺とじ)]で印刷されます。
この問題は、コマンドラインから cngplp コマンドで印刷することによって回避できます。
- Vine Linux 3.1 をお使いの場合、Adobe Reader 7.0.9 からの印刷に時間がかかる文書が

あります。

- Vine Linux 4.1 をお使いの場合、コマンドラインから日本語を含む PDF を印刷すると、Ghostscript が不正終了するため PDF 印刷が止まる場合があります。
この問題は、Adobe Reader を使用することにより回避できます。
- Vine Linux 4.1 をお使いの場合、Adobe Reader 8 から PDF ファイルを印刷すると、Adobe Reader 8 が作成する PS ファイルを Ghostscript (7.07) が解析できず異常終了し、フィルタ処理が終了するため、キューが停止することがあります。
この問題は、Adobe Reader 7 を使用することで回避できます。
- Vine Linux 4.1、Vine Linux 4.2、Fedora 8、Fedora 9、および RedHat Enterprise Linux v.5 をお使いの場合、CUPS フィルタが常にポートレイトで PS コマンドを作成するため、テキストファイルの印刷において、ランドスケープ指定時に向きがポートレイトとなり、印字が欠けているような印刷結果となることがあります。
この問題は、CUPS 設定ファイル mime.convs の text/plain 行で指定されている CUPS フィルタ名を、CUPS 標準フィルタの texttops に変更することで回避できます。
その場合、日本語テキストは文字化けしますので、テキストエディタや paps などのテキスト・ポストスクリプト変換プログラムを使用して PS コマンドを作成してから印刷する必要があります。
また、CUPS 標準フィルタの texttops で提供される機能は正しく動作しないことがあります。
- Vine Linux 4.2 をお使いの場合、[フィルタオプション] ページの [フィルタ指定] - [Text file options] の設定値が印刷結果に反映されないことがあります。
この問題は、CUPS 設定ファイル mime.convs の text/plain 行で指定されている CUPS フィルタ名を、CUPS 標準フィルタの texttops に変更することで回避できます。
その場合、日本語テキストは文字化けしますので、テキストエディタや paps などのテキスト・ポストスクリプト変換プログラムを使用して PS コマンドを作成してから印刷する必要があります。
また、CUPS 標準フィルタの texttops で提供される機能は正しく動作しないことがあります。
- OpenOffice.org の Writer などのアプリケーションの印刷画面で給紙部を指定した場合、指定は無効となり、ドライバ画面で設定した給紙部を使って印刷されます。
給紙部を指定して印刷するには、ドライバ画面で指定するか、コマンドラインから印刷してください。
- Debian GNU/Linux 4.0 をお使いの場合、プリンタ登録操作時に ppd ファイルエラーとなる場合があります。プリンタ登録コマンドの ppd 指定に "-m" の代わりに

”-P (ppd のフルパス)”を使用してください。

```
例： /usr/sbin/lpadmin -p LBP5900
      -P /usr/share/cups/model/CNCUPSLBP5900LJ.ppd
      -v lpd://192.168.1.10/LBP5900 -E
```

- Ubuntu7.04 および Debian GNU/Linux 4.0 をお使いの場合、ドライバ画面などが文字化けする場合があります。/etc/gtk/gtkrc.ja ファイルを/etc/gtk/gtkrc.ja.utf8 としてコピーし、作成した gtkrc.ja.utf8 ファイルの 1 行目と最終行を以下のように書き換えてください。

[修正前] gtk-default-ja

[修正後] gtk-default-ja-utf8

- USB 接続でプリンタをスプーラに登録する場合、ディストリビューションによっては [デバイス URI] に /dev/usb/lp* と指定しても “Printer not Connected” と表示され、正常に印刷できない場合があります。その場合、以下のコマンドを使って表示されるプリンタ固有の名称を [デバイス URI] として指定してください。

例) iR C5185 の場合

- 1) [デバイス URI]を確認する

```
# /usr/sbin/lpinfo -v
direct usb://Canon/iR%20C5185%20(LIPS4)
direct usb://Canon/iR%20C5185%20(LIPS%20LX)
```

- 2) プリンタを登録する

```
#lpadmin -p IRC5185_USB -m CNCUPSIRC5185LJ.ppd
-v usb://Canon/iR%20C5185%20(LIPS4) -E
```

- Debian GNU/Linux 4.0 をお使いの場合、Evince からの印刷に時間がかかったり、印刷できない PDF 文書があります。この場合は、Adobe Reader など他のアプリケーションから印刷してください。

- Mandriva One 2008 Spring で CUPS のバージョンが 1.3.6 のシステムをお使いの場合、CUPS の標準機能を指定して印刷しても、印刷結果に反映されないことがあります。この問題は、CUPS をアップデートすることで回避できます。

- Ghostscript のバージョンが 8.6.x の場合、印刷できない文書があります。

- LBP5900/5400/3410 をお使いの場合、Adobe Reader 8 から LIPS ドライバを使用して PDF を印刷したときに、「メモリフルエラー」が発生することがあります。

=====

お客様相談窓口

=====

本ソフトウェア、および付随する情報等は、キヤノンが独自に開発し、キヤノンマーケティングジャパンが配布するものです。本ソフトウェア、および付随する情報等に対応するプリンタの製造元であるキヤノン、配布元であるキヤノンマーケティングジャパンは、本ソフトウェア、および付随する情報等に関するお問い合わせは受け付けておりません。なお、プリンタの修理、または消耗品の購入等、プリンタ本体に関する問い合わせは、キヤノンマーケティングジャパンにお願いいたします。

=====

Copyright CANON INC. 2008